

全国学生運動の団結をめざす

# 交流集会報告集

1979年6月23日、24日 京都



ファッショ的弾圧にも屈せず勇敢にたたかうソウル大学の学生たち

## はじめに

去る六月二十三、二十四日の両日、京都大学において「全国学生運動の団結をめざす交流集会」が開られた。この集会は、三月、東京でもたれた数大間の会合の中から準備がはじまり、分裂・分断を余儀なくされ敵の攻撃を前にいまだ団結をかちえていない全国学生運動の現状をいかに突破するべきか、その一步となり得ればこの認識を進められてきたものです。

青山学院大学原理問題を追及する会、京都大学吉田寮自治会委員長馬場靖男君、長崎大学医学部学友会総務委員長長堀内芳夫君らの呼びかけが全国に発せられ、当日の集会に結集した学友は、北海道から九州まで三十余大学、四十数団体、百二十名にのぼりました。

集会では、南朝鮮の英雄的な学生運動に学ぶという意味で許学寿氏の講演、学生の性格と学生運動の役割りを知り大きく闘いをすすめるということで広谷俊二氏の講演をそれぞれ受けました。分散会、交流会では卒直かつ真剣な討論と交流がなされ、熱気ある雰囲気ですべてが固められていきました。

この報告集は、闘わず学生間に分断をもち込む日共「民青をうち破り、戦闘的、大衆的な学生運動の大団結を」かちとろうという集会参加者の意志と、そのための第一歩が全国各地の闘いの中からはじまっているんだということ、全国の学友、闘う仲間を広めるためにつくられました。

不況は長期化し、総選挙の結果政局はますます混乱を深めています。全国各地で労働争議や住民闘争が押さえつけようにもわきあがり、広がっています。学生運動にも深い関わりを持つ三里塚闘争では、本集会にメッセージを下さった戸村一作委員長が逝去される悲しい日を迎えましたが、農民自身が闘争の先頭に立ち、より一層の闘いをつくりあげはじめました。学生管理、学生運動に対する弾圧強化にもめげず、学園での火の手は各地であがってきています。ついに朴を死にまで追いつめた南朝鮮学生の闘いは、私たちにどのように闘うべきかを教えてくれています。今やわが国でも、学生の団結と学生運動の高揚が求められています。

全国の学友が、真剣に団結をかちとろうとするならば、必ずや勝利することを確認し、八十年代をつき動かすような学生運動を構築しようではありませんか。集会とこの報告集がそのための一步となることを願うものです。最後に、この報告集では種々の事情を考慮して、貴重な発言でありながら掲載を控えたものが多数あります。すべての文責は報告集作製編集委員会にあることをお断わりします。

## もくじ

はじめに.....	1
呼びかけ.....	3
I. 全体総会 6月23日 京都大学楽友会館	
問題提起.....	5
参加大学.....	6
メッセージ.....	7
熊野寮自治会との確認事項.....	7
記念講演「韓国学生運動の歴史と教訓」.....	9
記念講演「戦闘的学生運動を築こう」.....	15
II. 分散会 6月23. 24日 京都大学文学部校舎	
第一分散会（自治会運動）司会・長崎大学.....	21
第二分散会（寮運動）司会・京都大学.....	25
第三分散会（反原理運動）司会・青山学院大学.....	28
第四分散会（反公害住民運動）司会・熊本大学.....	32
第五分散会（国際連帯運動）司会・大阪大学.....	36
III. 総括集会 6月24日 京都大学楽友会館	
南朝鮮人民・学生の反朴民主化闘争、南北の 自主的平和統一の闘争を支持し連帯する決議.....	39
集会アピール.....	40

## 呼びかけ文

# 戦闘的・大衆的・力強い 学生運動の創出を！

全国の学友の皆さんノ自治会、サークル、寮をはじめとして奮闘しておられる活動家の友人の皆さんノ  
来たる六月二十三、二十四日の両日にわたり「全国学生運動の団結をめざす交流集会」をひらきたいと思いま  
す。この交流集会は、支配層、文部省、大学当局にたいならされた闘わない日共ニ民青の学生運動をうちやぶり、  
わが国の戦闘的学生運動の伝統をうけつぎ、学生運動の大爆発を準備するためひらくものです。同時に、全国の  
友人たちが各地で闘い、切実に交流し実状をひろく深くつかむことを求めているその必要さに応え、討論を重視  
したものにしたいと思います。我々は、分野、見解に若干の違いこそあれ、戦闘的、大衆的、力強い学生運動の  
創出を望んでいる点では一致しており、団結するならば、そのような学生運動を全国で創出することができる  
と思います。

八十年代を目前にして、情勢は急であります。

イランでの革命は、アメリカをはじめとする先進資本主義の危機を一層深いものにしていきます。朝鮮の南北統  
一にむけた闘いも大きく前進し、その妨害をねらう朴・日・米の支配者達に道理はありません。更には、全世界  
人民を何度も殺りくして余りある核兵器をめぐって争っている米ソのSALT交渉など、我々も重要な関心を  
よせざるを得ずあり、中国・ベトナム・カンボジアの問題も共に考え討論を深めていく必要があります。激動の世  
界の動きは、明らかにアジア・アフリカ・ラテンアメリカ・アラブ諸国、人民の闘争の前進の下で歴史が動



いていることであり、超大国アメリカ、ソ連の思わくどりにいかないということ。

わが国においても諸矛盾が激化し、人民大衆の反攻もまた激化しています。政府・支配層は倒産、首切り、合理化、インフレ、大増税……とその危機を労働者、人民大衆に転化するしかすべをもたず、闘う条件は至るところにあります。しかしながら、今回の統一地方選の結果に明らかのように、既製の野党は展望をさし示しえず、とりわけ日共の選挙の道「革新統一戦線」民主連合政府の道「は完全に破綻しました。政治の転換を多くの人民が望んでいるにもかかわらず議会議主義の野党が信頼を失う状況が生まれています。力強い大衆運動「大爆発」が今程求められている時はないのでしょうか。

我々学生についても、問題が山積みされています。文部省の中教審路線の下、筑波型の大学再編が急であり、学友たちの不満はつづいています。例えば慶応大学の「義塾新聞」では①カリキュラム②マス・プロ教育問題③学費、物価スライド制……不正入試事件、原理問題などをとりあげていました。自治会・サークルなどの自主的な活動についても規制が強まり、現在の社会を支える「もの言わぬ人間」作りが一層すすんでいます。全国各地で、学生生活をめぐって様々な問題がうずまき、闘う条件が拡大しています。

我々は、全国各地で闘い切実に団結・交流を望んでおり、今回の取り組みを通じ学園の状況をしっかりつかみ、大衆と共に、全国の仲間と共に闘っていく契機にしていきたいと思います。

全国の学友の皆さん！  
活動家の友人の皆さん！

この呼びかけは、五月二十一日東京において全国十二大学十七名の参加でおこなわれた討論を基礎に発するものです。とりわけ、命をかけた南朝鮮学生の度重なる決起は我々の心をうつものがあり、その闘いから学ぶと共に、まだ見ぬ全国の友人との団結をめざし、交流をめざし、学生運動の爆発をめざし京都に集い討論を深めましょう！心より皆さんへの参加を訴えます。

一九七九年 五月

呼びかけ人

青山学院大学 原理問題を追及する会

京都大学 吉田寮自治会委員長 馬場靖男

長崎大学 医学部学友会総務委員長 堀内芳夫

## 力強い大衆運動の「大爆発」が 今こそ求められている

青山学院大学 中野志乃夫

呼びかけ文を中心として、いくつかの問題提起をしたいと思います。

私達は今、全国の学園で苦闘し、新たな運動を模索する中で、「闘っている分野、思想上の見解などについて若干の違いがありながらも、戦闘的、大衆的、力強い学生運動の創出を望んでいる点では一致しており、団結するならばそのような学生運動を全国で創出することができると思います」という呼びかけを発しました。

そのように考える根拠について、この集會に参加されている皆さんに訴えたいと思います。

まず、なによりも、呼びかけに込めここに各学園で闘いを堅持されている仲間があつまっていること、また参加はできなくても他の多くの仲間がこの集會に賛同し、注目しているということ、闘わない日共「民青と争って多くの学友が闘いを堅持している現実、我々を大きく勇気づけると思っています。

呼びかけでは、団結をめざす私達の共通の基盤、展望のある条件について二点にわたり述べているだろうと思えます。

第一は、情勢との関連で、「力強い大衆運動の「大爆発」が今程求められているときはないのでしょうか」という認識であります。これは学生運動についても全く同じです。情勢が急であり、闘う条件が拡大し、政治の転換を多くの人民が望んでいるにもかかわらず、既成の勢力がその信頼を失っているということは大変重要な事実ではないでしょうか。



そして学生運動について、各界、各戦線から注目、期待されているということは、多くの学友諸君の経験にもはっきりあらわれていると思います。これらにまじめに応えんとすれば、閉結は大いに前進すると思います。

第二は、「全国各地で、学生運動をめぐって様々な問題がうずまき、闘う条件が大いに拡大しています」ということです。このことは皆さんの身のまわりのこと、日常生活から感じられる関心事や、政治的関心の高まりについてしっかりつかむことの中でつかめるのではないのでしょうか。各闘いの実践の中でしっかりそれをつかむ必要があります。

この集会は、現状にくさびをうちこむ具体的な第一歩とし、我々自身、全国の仲間を励まそうではありませんか。

## 《参加大学》

1. 札幌商科大学
  2. 弘前大学
  3. 筑波大学
  4. 中央大学
  5. 青山学院大学
  6. 法政大学
  7. 大正大学
  8. 東京大学
  9. 千葉大学
  10. 神奈川大学
  11. 横浜国立大学
  12. 和光大学
  13. 京都大学
  14. 同志社大学
  15. 立命館大学
  16. 精華大学
  17. 龍谷大学
  18. 京都府立医科大学
  19. 京都芸術大学
  20. 大阪大学
  21. 関西学院大学
  22. 福山大学
  23. 尾道短期大学
  24. 下関水産大学
  25. 西九州大学
  26. 長崎大学
  27. 熊本大学
- その他

## メッセージ

### 戸村一作氏 (三里塚芝山連合) 空港反対同盟委員長



十一月二日、戸村一作氏は悪性リンパ腫のため逝去されました。氏の御冥福を祈ります。

全国学生運動の一大峰起は、現在の三里塚闘争にとっても必至です。なぜなら学生運動の低下と学生の無思想性は一般化されている現状です。これは支配階級の意図するところであり、また、幼、小、中、高、大学にいたるまでの文部省の教育方針からくるものです。真に大学が学問探究の場であるなら、三里塚で、日本原で、沖縄で、なにが起きているのかくらいは知らねばなりません。そして、大学は、文部省や大学経営者に一任するのではなく、学生自治によって自治をかちとらねば学生の真の解放はありません。……どうかこの交流集会在、単なる集まりに終わることなく実践行動をもって応えていただける一大学生運動の突破口となって下さい。

そもそも三里塚は、旧三派系全学連、全共闘運動の参加、労農学共闘をもって十四年間闘いつづけ権力を追いつめてきました。それ

につけても、学生運動の一大決起と蜂起は必至です。集会の成功を祈ります。

## 山田坂仁氏

青年は、全ゆる可能性と実動性をひめており、わが国の進路を決定するカギを握っております。日本の未来、世界の未来をきりひらくのは青年において他ありません。ここにお集りの皆さんがそうした闘いの先頭にたつよう期待します。

## 寺尾五郎氏

健闘を祈る。

## 京大熊野寮との確認事項について

呼びかけに際して京大熊野寮の件について、

当初呼びかけに参加していたM君をめぐって若干の問題が生じ、実行委員会と熊野寮臨時執行部の話し合いで次の四点を明らかにすることになりました。

- 一、M君が個人の判断で委員長として呼びかけに加わったことが寮内で論議され
- 一、それを原因の一つとして現在、熊野寮委員会が解体している
- 一、呼びかけ人になったことを「白紙撤回」する旨を全寮的に確認している
- 一、以上の点で呼びかけ人の是正が不十分であったことを実行委員会として確認する

## 記念講演

# 韓国学生運動の 歴史と教訓について

統一革命党

在日韓国人連帯委員会

許学寿氏

統一革命党連帯委員会の許学寿です。今日は、韓国の学生運動を紹介する講演をしていきたいと思っております。

日本では、韓国のように露骨なファッショ・テロがあるわけではありません。かわりに、強力な思想攻勢があります。その中で、本当の革命的原則を堅持していくことと自体が、かなり厳しい闘いになっていかざるを得ない、こういう状況があり、これがひとつの日本の特殊性ではないかと思うのです。僕自身も在日韓国人として日本に生まれたわけですが、特にこういう日本の物質的に裕福

な中で、ともすればくじけそうになることが多々あるわけですね。そこで自分を支えてくれた大きなものは何かと言えば、やはり自分と同世代の青年、特に同じ民族の血が流れている韓国学生が、英雄的な闘いを続けているということ、そういう学生運動が韓国にあるということだったと思うのです。

朝鮮の近代史は、民族解放のための独立闘争の歴史だったと思います。韓国の学生運動は、韓国民衆だけでなく、朝鮮五千万民族の誇りです。常に、社会と民族を代



うにあります。

「韓国の歴史形成の上で無視できない大きな奇跡が存在する」

「執権層顔色ならしめる劇的な転換が作られた半世紀の確固たる伝統が我々にはあるのである。従って我々の学生運動は社会参与の主体的な記念碑である」

「半世紀にわたる韓国の学生運動は、民族主義と民主主義の金字塔であった。すなわち、その運動転換においてこの二つの原理が双壁をなしているのである。いわゆる民族主義と民主主義、民族・民主というのが韓国学生運動の二つの原理である。解放を通して、反独裁の民族民主闘争を一貫して展開していく過程で、これら若い世代の行動は民族運動打開の活力源となってきた」。

以上のように、この誇り高き韓国学生運動について言っています。

では次に、韓国の学生運動について、具体的な闘いと、その中で青年群像を紹介していきたいと思えます。

大きくは、三つに分けておきたいと思えます。四月革命の時期、六十年代、七十年代、この三つです。

まず、四月革命ですが、朝鮮戦争後の韓国はかなりの反動の時代をむかえます。そのような中で韓国学生は、学園問題と兵役拒否のような低い闘争スローガンで運動を蓄積していったわけです。学校の強制閉鎖と撤去の反対闘争、通学条件の改善闘争、李承晩の軍隊への強制徴兵に反対する等々です。一九六〇年の四月革命は、自然発生的な側面がよく言われますが、こうした一つの導火線の下に独裁反動政権を打倒する闘いとして巻き起こるのだということ指摘しておきたいと思えます。

次に、四月革命の特徴と意義について。

特徴は、一つは最初から反独裁のスローガンの下に強い政治性を帯びてくり広げられたということ。二つめは青年学生を含んだ各階各層の広範な人民の参加の下に大衆的性格を帯びていたこと。三つめは、最初から暴動的な性格を帯びていたことです。よく言われたスローガンに「生きられないから変えてみよう」がありました。

意義として三つ挙げておきたいと思えます。一つには、反米・救国闘争でなしとげた最初の勝利と思われること。

二つには、反独裁から始まった革命が、矛先が次第にアメリカに向き、祖国統一に対する韓国人民の大衆的闘争として転換したこと、言ってみれば、より体質的な反米・民族解放闘争へと転換することとなったこと。三つめは、国際的にも大きな影響があり、史上初めて学生中心に一國の独裁政権を倒したことです。

四月革命には、勝利と敗北の両面からの教訓があります。

す。どんなことがあっても打倒できないと言われていた李承晩を打ち破ったことで、青年学生と人民が団結して闘うならば、いかなる反動政権と言えども打ち砕くことができるんだという強い信念、そういうことを証明したと思えます。それと共に敗北の教訓もあります。南北学生会談を目前（五月二十日）にひかえ統一へ向け準備の進んだ六十一年、朴正熙が五・一六軍事クーデターを起こし、四月革命は未完に終わるわけです。その意味で、闘う側の本場の統一団結、特に労働者、農民に根ざした前衛党の必要性、前衛党に導びかれたところの学生運動それと広範な大衆の闘争が必要だということです。ソウル大の四・一九第二宣言文「三・四月の抗争は、政治指導組織のせい弱性と、転換期理論の貧困性が、この抗争を中止させた」とあるように、つまりは前衛的な党がないという事、もう一つは革命的思想・理論がないという事を、四月革命の勝利を他に奪われた血の教訓として考えるべきでしょう。

前衛党の必要性ということがはっきりしたわけですが、統一革命党は、六十四年創党準備委員会、六十四年に中央委員会をかちとるわけです。

次に、韓国の学生の四月革命の成果を奪った軍事ファシストである朴正熙に反対する闘いを、六十年代と七十年代に分け、まず六十年代から見たいと思えます。



六十年代の学生運動は、未完に終わった四月革命を完遂するための模索であったと言えます。これは激烈な大衆闘争を展開しつつ行なわれ、一見挫折の歴史でもありません。

闘いとしては、六十二年民政移譲反対闘争というのがあります。これは、朴は絶対に民政には参与しない、軍政を解いたあとは大統領にはならないと何回も声明するわけですが、実際は強硬に民政移譲していくわけで、それに対する闘いです。

次に六十年代最大の六十四、五年くりひろげられた韓日会談反対闘争。これは、アメリカの相対的な後退の中でいわゆる朴政権が、韓国の植民地体制を維持するために日本の資本を大々的に送りこもうという会談だったわけですが、それに対して六十四年に大きな闘いがおこります。続いて六十五年には韓日条約の締結に反対する八月闘争があります。この八月一ヵ月間で八十余の大学、高校の八万三千の学生と市民が闘いに参加し、ここでも朴政権打倒にあと一步と迫るわけです。

次には、六十七年の不正選挙反対闘争と佐藤、ハンフリー訪韓反対闘争があります。ここで注目すべきは、六月十四日、十五日の二日間に平均五万の学生が参加していることです。これは六十四年の最高時の六・三闘争の二倍強になります。

六十七年のあとには、六十九年の三選改憲反対闘争があります。憲法で禁止されていた大統領三選を、朴が永

大衆を指し、七十年代への課題としている。

七十年代を一言で言うと、朴政権が永久執権の為に一人独裁体制を強化してきた時代であったろうと思います。そしてその朴独裁体制に対する激しい反ファッショ民主化闘争として七十年代が見てこれると思います。

維新体制というのは七十二年十月十七日に敷かれるわけですが、これ以前にも反朴の闘いが燃え上がります。六十九年の闘いのあと、七十一年には軍事強硬反対闘争と不正選挙糾弾闘争があります。そしてこれは、特徴として統一戦線組織を創ったということがあげられるんですね。全国学生総連盟、民主主義全国青年学生連盟、民主国民協議会など、反ファッショのための統一戦線的な思考がかなり鮮明に打ち出され、様々なスローガンを掲げつつ、柔軟な闘いを進めるなど、戦術面で巧みになってきました。また、この時期に多くの地下サークルができてきたことがあります。地下サークルを通じて闘いを何とか持続させていこうとする志向性を強めていきました。これを指導したのが統一革命党だったと思われる。

学生の闘いがどんどん弾圧されるようになります、より高い質の闘いを組織しなければならなくなります。七十二年十月二日の決起までの二年だと言えます。

七十三年ツウル大文理大生の「絶対服従せず、絶対妥協せず、果敢に抵抗する」という宣言の下、全国に闘い

久執権をもくろむなどで合法化していくわけです。これに反対する闘いですが、反帝・反ファッショの性格が明確になった。そういう政治性の強い闘いでありました。

六十年代の闘いの制約性は、ほとんど学生中心であったということです。もう一つは継続した闘いを展開しえなかったということです。前者では、野党の弱体性や宗教人が反朴闘争に立っていない、労働者の闘いが無力であることなども原因と言えます。もう一つの制約性を言えば、個別的な闘いであつたということです。敵の打ちだしてくる政策に個別反対するという闘いであり、闘争が高揚した時期においてはじめて一時的に朴政権打倒というスローガンが出てくるような感じでした。

ただこのような苦しい闘いの中で注目しなければならぬのは、金芝河をはじめとして多数の学生活動家が活動家として残り、闘いの中で鍛えられ、点検されて革命家として育っていったということです。これは血の中から得られた偉大な成果であります。

一九七〇年に発表された「学生運動白書」は、ソウルの各大学が共同で出したものですが、ここに次のような六十年代の総括があります。

「従来の学園中心のまた不可欠的な問題中心の運動からぬけ出て、大衆的運動に長期的に入っていく事をその型式とし、その内容としては民族運動、民主運動、民権運動を指向する。そのように総括する」

ここでいう大衆とは労働者、農民をはじめとする勤労



大道路を埋めるデモ  
(1960年4月革命)

が広がりました。十二月までの三ヶ月間に五十八大学十三高校十万余名の学生が闘いに決起しました。学生だけでなく、徹みたいなものを出して、野党の人士にも大きな影響を与えた国民的な闘争でありました。

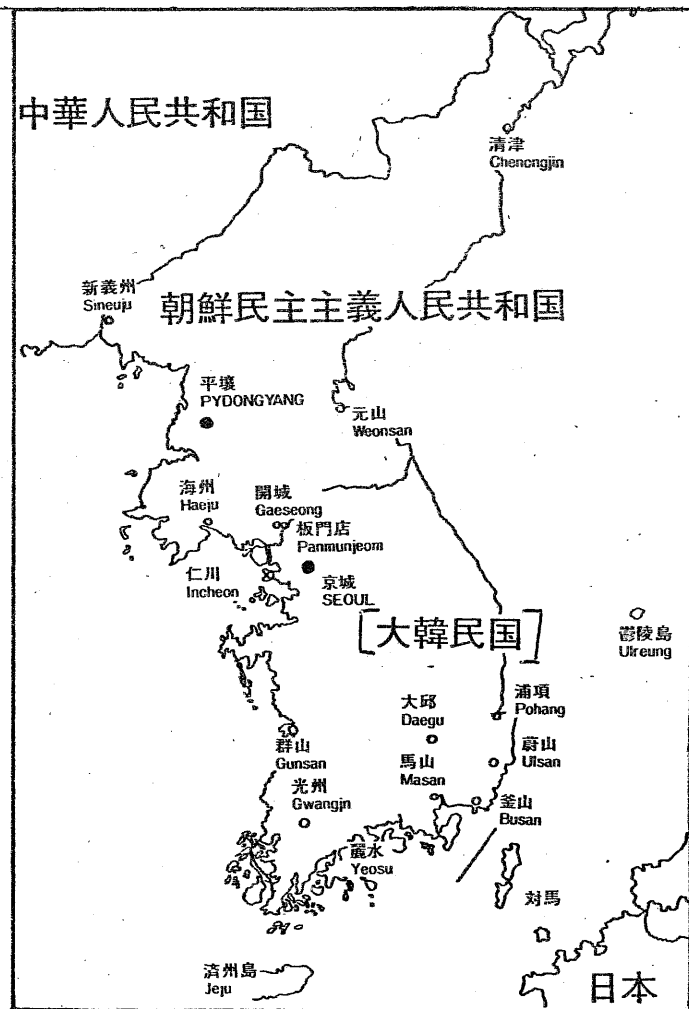
この反維新体制の特徴は、朴政権の打倒を真先にかかげ、決死的に闘われたこと。闘いの組織化、意義が一層高まり、大衆基盤が急速に拡大したこと(七十四年四月民青学連総決起で数十万枚ピラをまくなど大きく前進)。現実的で柔軟な闘争スローガン、戦術を巧みに駆使しながら、頑強性と持久性を保障していること。各界、各層

の民衆特に労働者との連携が強く指向されていること。などである。統一戦線志向はかなり強く出た。

昨年各都市で「予告集会」があり、今年も「カーター訪韓」反対の高麗大生千名の闘いなど果敢に闘い続けています。

こうしたことは、韓国学生運動の偉大な前進を示しつつ、朴ファッショ独裁、維新体制下におけるいかなる弾圧でも、闘いの炎は決して消えず、むしろ弾圧が強まれば強まるほど闘いは高揚するし、朴政権というものには打ち倒さざるを得ないことを朴政権につきつけています。闘いの確信と勝利への信念を打ち固めるものとなっています。

四月革命の時は、純粹さが結集しただけのある意味で一時的な闘いでありました。闘いながら苦悩したのが六十年代です。重要なことは韓国唯一の前衛党である統一革命党と結びつき、その指導の下に学生運動がなければ、各界、各層との結合、連携はできないという事です。今日は統革党につい



て十分述べる事ができませんでしたが、その存在はますます大きなものとなっています。私たち統一革命党連帯委員会も統一革命党を知らしめるため、活発な活動をくり広げていきたいと思えます。

## 記念講演

# 戦闘的學生運動を

## 築こう

元日本共産党青対部長

広谷俊二氏

まず最初に、マルクス主義の立場から見て、学生の社会的・階級的な性格とはどういうものかという点についてお話ししましょう。

古代や中世においても大学と名のつくものはあるのですが、現在のような大学制度は、資本主義社会と共に生まれてきました。ところで資本主義制度というのは、技術者、教育者その他多くの専門の知識、技術を持つ人を必要とします。こうした人材を制度的に養成しようという資本家階級の必要から大学は作られたんです。だから

大卒の知識人は、一般の労働者と違い専門的知識・技術によって生活するわけです。知識階級と言われますが、

マルクス主義の立場から言うと階級というのは、生産手段の形態によって区分された集団のことですから、知識人というのは単一の階級を構成するわけではありません。現在の社会で階級を構成しているのは、資本家・労働者・小生産者です。知識人層はこの三階級に分かれて所属しています。学生は知識人として育成される過程にあり、未分化の存在です。資本家の側につき可能性と労働者階

級と共に資本主義を變革する側に立つ可能性もあるという状態が学生の特徴でしょう。

学生というものは資本主義と共に発牛したから、最初に学生運動が起こったのは西欧です。一八三〇年の七月革命で学生は市民と共に闘っています。これが歴史上最初の学生運動でその後、十九世紀前半の西欧のブルジョア民主主義革命の時には、学生が勤労市民と共に闘います。ロシアでは、二十世紀初め頃までツァリズムに反対し、戦前の日本では反政府的・戦闘的性格を持つ学生運動がありました。また、植民地の民族解放運動の口火を切るのが学生であるというのも、世界各国共通の現象です。大きなものは、一九一九年の中国の五・四事件です。これは、日本の軍国主義に反対して学生が真先に立ち上がり、続いて労働者、商人が闘ったものです。

なぜ、このように学生は先頭に立ち闘うのでしょうか。一つには、まとまりやすいということや、青年の持つ理想主義的正義感や、政治的敏感さのためでしょう。

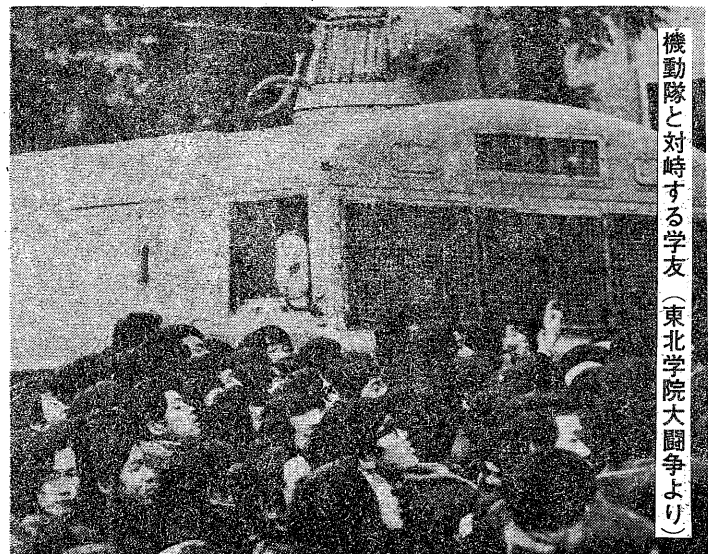
このように学生は多くの先駆的役割を果たしてきましたが、高度に発達した資本主義国ではその役割は小さいと言う人がいます。しかし、一九六八、九年のフランスの五月危機、日本の大学闘争という例があり、そのように言うことはできないでしょう。

次に、学生運動の中の運動論について述べてみます。

一つの運動形態としては、学園を去って真の革命階級である労働者や農民の中へ入っていくというのもありました。しかし、学生の中で多数を結集させて闘い、労働者階級の同盟軍として、革命の戦列に合流させることが主な学生運動になるわけです。そして戦後は二つの理論が対立しています。一方は、いわゆる一層としての学生運動論つまり、学生は全体が一つの層として民主主義的、民族的闘争に立ち上がるべきで、労働者のように経済上・生活上の要求をかけた統一行動をとるものではない。労働者や広範な人民大衆の政治的立ち上がりや促進する先駆的役割を果たすため、センセーショナルな戦術形態をとるべきだという考え方です。これに対し、もう一つは、学生の身の回りの要求をとらえ、学生だけでなく、大学教職員や地域住民と手を結んでいくという活動をすべきだという考え方です。この二つの考え方がずっと対立してきましたが、よく考えればこれは対立すべきでなく相補完し合うものなんです。歴史的には、全学連指導部が前者の「政治闘争」、日本共産党が後者の「諸要求闘争」で対立し続けてきたわけです。

では、今、大学はどういう状態にあるのでしょうか。日本独占資本は、経済の高度成長をおし進めました。このことは、より多数の知識人、つまり大学出を必要とするということと、彼らは大学のマスプロ化を進め、進学

機動隊と対峙する学友（東北学院大闘争より）



わが国の場合、前述のように、戦前の天皇制下、戦後の米軍占領下の民主主義や民族の独立が踏みにじられる状況の中で、学生運動が非常に戦闘性を帯びるという伝統を持っています。歴史的には、大正デモクラシーの後、社会主義思想が労働者や学生をとらえ、社会科学の研究成果が高まります。そして、マルクス主義思想・社会主義思想を身につけた人々が学生運動の中心を担うということが、現在に至るまで学生運動の一つの大きな特徴で

競争を通して選別、格付けをおし進めました。その中で多くの青少年が人格を歪められています。これが独占資本の人造りです。レーニンは一資本主義下の学校では、青年たちは教育されるというより、ブルジョアジーの役に立つように仕込まれている。彼らはブルジョアジーに利潤を与え、その安定を乱さない召し使いに育て上げられていると言っていますが、受験競争とは真にそういう人づくりであり、そして大学自体もその一環を担っていると云えます。つまり、大学は戦前と違い、いかにも学問の自由が保障されているかのようですが、実際は資本家がいややすい、従順で勤勉な召し使いを養成する場であると同時に、主に教授を使って資本主義社会に都合のよいイデオロギ―を植えつける工場になっているのです。

こうした状態の中で学生運動の役割が非常に大きくなるわけです。つまり、学生には闘う能力があります。独占資本の大学支配・利用を困難に追い込むような力を持っているのです。ところが、その学生運動がここ数年間、沈滞しています。そのために独占資本の大学支配が、また社会に対するイデオロギ―的影響が強められています。最近、経済の高度成長が破たんして長期不況に入り、資本主義の矛盾が深まりました。にもかかわらず、政治的にも、また労働運動でも右よりの勢力が強くなったといわれています。これには大学闘争が沈滞し、大学におけるブルジョア思想が大きな役割を果たしています。学



生が大学の管理や運営といった自治に参加して、その身の回りの要求や、政治課題をにかけて闘うという学生運動が活気づくことは、一つには以上述べたような大学の雰囲気を変え大きく変えると共に、それを通して、学生自身を本場に教育することになるのです。

マルクスは、革命あるいは大衆闘争というものは、社会を変えるために必要であるのみならず、人間を大量に変える方法であるというようなことを言っています。つまり、闘うことを通して自己変革されるのです。闘うことが本場の未来社会を建設する人間を形成するのではないのでしょうか。自分の頭で考え、自分の責任で行動していくなかで、社会の主人公として自分を形成していくことができるのではないのでしょうか。

そして、民主的解決の場のない今の大学においては、そういった闘争のおこる客観的条件はあると思います。

そこで、次にとのようにして闘いをおこすかという点とあります。これについて一言で言えば、大衆路線を学ぶ必要があるということです。つまり、大衆の中へ入り、大衆と溶け込み、大衆から学べということです。

中国共産党の八回大会で述べられていますが、党が大衆の経験と意見を分析・総合し、系統的に集約することによってこれを党の主張に変える。そして、次に大衆の

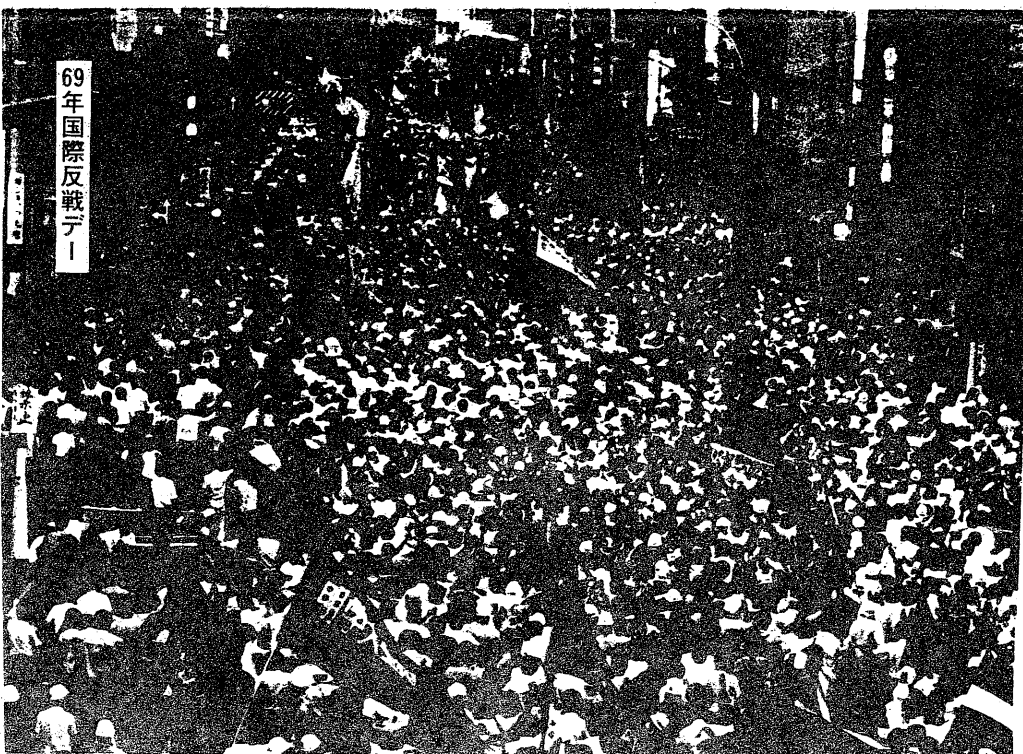
間での党の宣伝活動と組織活動を通じて再びこれを大衆の中へもどす。そして、そのことを通して、大衆自身の主張を行動へ変える。その過程で党の主張を点検、補正し、修正する。したがって、党の指導上の責任は、大衆の中から大衆の中へということを通して無限にくり返していく過程で、党と大衆の認識をたえず高めるといえること。また、この一年間に、毛沢東は次のように言っています。それは、大衆の分散して系統だてない意見を集約した上で、再び大衆の中へ持ちこんで宣伝し、説明して大衆がこれを堅持して行動にあらわすようにしむける。同時に、大衆の行動の中でこれらの意見が正しいかどうかを試す。そしてその上で、さらにそれを大衆の中から集約し、また再び大衆の中へ持ち込んで大衆の意見と行動にしていく。これが、マルクス主義の認識論であり、弁証法的唯物論の認識論であるということです。

ここで弁証法的唯物論について言えば、それはすべてこの事柄は運動しているとみる。そしてその運動とはそのものの内部の矛盾の転回である。矛盾とは事物の中のある相対立する力で、この力は互いに対立しながらも、同時にそれはそれぞれの存在条件ともなっている。対立しながらもささえあって存在しているわけです。そしてこの矛盾を通して、変化・発展・運動が行なわれるということ。社会についていえば、社会の基本的矛盾は、

資本家と労働者という階級間の矛盾であります。この両者は結合して初めて生産が行われるわけですが、同時にそれは対立しているわけです。そういう矛盾を通して生産が行われ、社会が発展しているわけです。

そこで、学生や労働者の持っているあらゆる要求というのは、この階級矛盾の現われであります。従って、あらゆる要求をとり上げるといことは、社会の矛盾を全面的に発展させることであり、それによってもっとも広範な人々を階級闘争に引き入れるということであり、そういう意味で、あらゆる身の回りの要求を取り上げるべきだと思えます。しかしながら、同時にそういった種々の矛盾の中には、主要な基本的な矛盾というものがあります。レーニンはそれを「環」といっています。それをつかむことが重要です。つまり、大衆運動の場合、あらゆる要求を取り上げるとは運動の幅を広くし、より広範な人々を運動に引き入れることですが、しかしそこにとどまらず、当面の環になるもの、つまりもっとも多くの人々に共通な要求、非常に広範な人々をいっせいに起ち上げられる可能性のあるような要求をつかむ必要があるということ。す。

このようにまず何が当面の環であるかをとらえ、そしてそれをつかんだら宣伝活動をし、自覚的先進的運動家を集め、学習して意志統一をして、そして彼らを通し



69年国際反戦デー

てさらに多くの太々に広げていくということです。この宣伝活動と組織活動をくり返すことにより、大衆の中にあるぼくぞんとした意識を明確化して、その行動をうながし、闘争を高めるわけです。それにはまず、組織的拠点、自治会といったものがなければむづかしいでしょう。

ここで共産主義運動には、様々な意見の対立があるわけですが、独占資本を打倒するという基本的問題では当然、一致するわけですから一致できる点では一緒にやっていくべきです。もちろん、その間の議論は思存分やるべきですが。とにかく、あらゆる広範な反体制勢力と団結を固め、闘っていくことです。ただ、その場合注意しなければならぬのは、その運動が高まった時に必ず余力を残しておくということです。相手は権力をにぎっているものであって、そう簡単にはうまくいきません。引くべき時に引くことです。我々の当面の目的は、もつと戦列を拡大し、組織を強固にしていくことであって、一時的勝利を得ることではないということです。

大衆路線も、こういった点で考えてみる必要があります。それからまた、個々の闘争が終つたら、必ず総括してその方針が正しかったかどうかを自己批判することが大事です。それから、同じ大衆路線といっても中国の場合と日本の場合とは違います。中国の場合、大衆団体があまゝ発達しておりませんから、共産党と大衆の関係です。しかし、日本の場合には、労働組合その他多くの様々な大衆団体が存在するわけで、前衛党がその大衆団

体を媒介として大衆路線を実行するという形をとるわけです。そしてこの大衆路線は、共産主義者でない人たちも賛成できる正しい運動方針であります。

そして、革命の根本的考えは、まず革命をやるのは幾百千万の大衆だということであります。その形態はともあれ、幾百千万の大衆が起ち上がって、その情熱や想像力や創造性や行動力を最大限に発揮することによって、革命はなされるのだということです。このように圧倒的多数が起ち上がることが革命であります。つまり、革命とは大衆闘争の量的発展が拡大し、質的發展に転化したということであるといえます。そういった意味で、幾百千万の大衆の中にひそんでいる革命のエネルギー、行動の能力をいかに引き出すか、燃え上がらせるかということが重要です。それは、闘っていく中で学んでいくものであります。そういう意味で、学生運動を高めると同時に、この大衆路線を、弁証法的唯物論を単なる知識としてではなく、実践として身につけ、学んでほしいと思います。

今の闘わない全学連をつき破って、革命的・戦闘的学生運動の再建へ向けて奮闘することを期待します。

### 分散会報告(概略)

## 管理強化をうち破り

## 自治会運動の前進を

### 第一分散会(自治会運動)

論じたいと思います。

はじめに、各大学の現状と活動報告をして下さい。

下木大 下関水産大から参加しました。うちは、農林水産省の所管で、卒業しても学士号その他の権利保証がないのが大きな問題です。また、現代の水産業が孕んでいる矛盾をそのまま反映しています。自治会運動としては、豊北原発の反対運動と連帯していくことを進めています。この問題を政治問題や住民闘争として考えているかというところではなく、常に水産問題として考えているのが実情です。これは、教育問題とも関連するのですが、今の教育は決して水産業をどうしたらよいかと考へておらず、単に学問としてだけあつかい、海を破壊するものの補完物となっています。ですから、海を守るというこの点からこれらの問題を位置づけているのです。

関西大 寮の自治会活動をやっていますが、今、天皇祭糾弾の闘いと社会学部長の釜ヶ崎労働者に対する差別糾弾闘争をやっています。それに、部落・在日朝鮮人差別問題でも学園当局を糾弾しています。

筑波大 筑波大の問題を簡単に紹介だけします。開学一年後に宿舍闘争がおき、自治会建

司会 学園をめぐる状況についてレポートを中心に討論します。一つは筑波大の学友より「筑波型大学再編」についての具体的レポート。二つめは各大学での四・二〇通達の実質

設を目指したのですが、当局により逆に全学  
学部代表者会議という御用組織が作られ  
ました。そして学長、副学長の権限が専制的  
な中で、オリエンテーションに統一原理の新  
聞が配られたり、昨年では学園祭で三里塚の  
映画上映、家永三郎講演を許可しないという  
「指導」名目の介入が続く状況です。

**京都府医大** 六百人の小さな大学です。七五  
年に自治会が再建され、闘う自治会が運営さ  
れてきましたが、昨年代々木に取りられました。  
大学側は際だって出欠チェック、学費値上げ  
等抑圧を強めてきています。

**神奈川大** ゼミナル運動をやっています。  
今年の新入生から学費が倍に跳ね上がりまし  
たが、それに対する全学自治会は解放派に握  
られ、学外問題が中心でした。自主的自治運  
営をどうするかが重要になってきています。

**西九州大** 佐賀にある小さな大学です。一ヶ  
月前、学生大会で自治会を再建しました。執  
行部とサークル連合、代議員会の三本柱で基  
盤づくりの段階です。今のところ、当局がや  
り協力的なのが無気味です。(笑い)

**福山大** 学友会の者です。食堂の改善と医療  
設備の保証が問題です。政治的なものは、立  
看、ビラ規制など抑圧はひどいですね。

内の分裂がすごいわけです。また京大は自由

があると言われますが、この自由が本当に力  
になるとすると、日共なんかが予防弁とな  
って警察に学友を売り渡したりするわけで、  
非常にわびしい自由です。

**長崎大** 水産学部学友会のもので。昨年は  
「むつ」闘争の成果が大きく、当局も学生を  
荒立てないよう神経質なほどです。ただ、う  
まく学生を団結させ運動しないと、執行部と  
一般学生を分断させられる危険性もあり大事  
な時期です。現在、県南の総合開発、湾理め  
たてに反対する運動を盛りあげて、漁民の人  
達と共に阻止していると考えています。ま  
た教養部では自治会選が闘われていますが、日  
共系と選管がゆ着して自治会の私物化を狙っ  
て滅茶苦茶しています。

**横国大** 横浜国大ですが、七四年に統合が始  
まり、この夏文部省政策に合致して統合が完  
了するわけです。学生管理も一層強化され、  
「移転後の学内管理試案」というやつで、掲  
示物・ビラ立て看規制、教室制限などがあり  
ます。学生の力によって実質化はされていま  
せんが、制限は強まり、教授会も無能な状態  
と言えます。昨年は大学祭を契機に学生がた  
ちあがり、教室開放を勝ち取り大学祭をや

**精華大** 京都にあり、今年から四年制になり  
ました。授業料が高く、年間五〇〜八〇万で  
すが寮もなく、奨学金もない状態です。民青  
系の自治会は、積極的に学費問題で学生を団  
結させていく姿勢がありません。

**大正大** 坊さんの大学ですが、学長は一般学  
生は経営を成り立たせるために過ぎないと公  
言しています。移転計画が進められており、  
筑波化の狙いが大きいように感じます。学費  
も上がっていますし、クラスを廻って学生の  
不満を調査している段階です。

**中央大** 昨年全学移転ということで文系は夜  
間部を含め全て、電車で二時間程の八王子に  
移転してしまいました。中教審答申に沿った  
私学の典型としてなされた訳です。マスプロ  
教育化が益々進行し募集人員も増え八百人、  
千二百人収容のバカでかい教室ばかり作っ  
ている。学生側は当局と一体となった日共民  
青と反日共グループということで団結できず  
セクト的利害が先に立っている状況で、決定  
的弱点となっています。

**京大** 京大はやはり共産党が強く、入学し  
た年は、竹本処分に反対する学友を警察権力  
に売り渡したり、学内を暴力学生が支配して  
いると全国キャンペーンをやっているわけです

抜いた現状で、今年は経済学部自治会が再建  
され、教育でも動きは盛りあがっています。  
**弘前大** 全学部の自治会が代々木系という状  
態です。その他寮自治会、生協、体育会と一  
元支配を行なっています。ただひとつ文化系  
サークル連合を反代々木の闘う部分が握って  
います。日共は非民主的なことをやり、数十  
万規模の横領事件が何度もあり、自治会委員  
長の酔っぱらい運転など目をおおわばかりで  
す。

**立命館大** 日共が誇る天下の牙城です。二万  
の学生のうち二千の同盟員を豪語しています。  
少しでも日共の主張と食い違ふと暴力学生に  
デッチあげられ、実名・写真入りのビラがだ  
されます。(笑い) 一般学生はデマを彼らの  
金と組織力で事実と思込込されてしまい、  
現在もM君デッチあげ告訴事件や反代々木活  
動家を処分するため、警察を学内に入れよと  
訴えています。

**青学大** 青山学院大の場合、勝共連合を通し  
ての大学支配が貫徹されている。学生自治会  
もなく、院長に批判的だった神学科がそのた  
めに廃止されてしまった歴史があります。  
**長崎大** 医学部学友会です。七〇年に全国に  
先がけて一学年二年制が一方的に導入されま



ね。僕ら自身も彼らはどうみてもおかしいと  
思いながら、ただどう批判してよいかわから  
ず右に左に動揺しながら学生運動の再建へ向  
け頑張っています。京大の場合、国の政策がも  
のすごく反映していて、総長などが日中友好  
に乗り気だったり、理学部では原子炉整備に  
狂奔したり、日共系の教授も多いだけに当局

した。しかし学生はたち上がり、学生の団結  
で撤廃に勝利し、多くの復学者も勝ち取りま  
した。その時の教訓として学生の生活と権利  
を守る真に闘う自治会が絶対に必要だといつ  
も考えています。その後、天皇訪米阻止、海  
洋博粉砕、狭山と学内ストを確立しながら闘  
ってきました。ただ、執行部についてゆけない  
学友もでてきて、そこで医療問題、労災病な  
どのサークルを学友会が支える役割を果し、  
授業、教育カリキュラム問題でも出欠チェッ  
ク拒否を決議で進めるなどしてきました。現  
在は教育制度を廻って、教授会、教官層、学  
生層が拒否権を持つ三者構成による検討委が  
もたれています。運動を多方面に前進させよ  
うと頑張っています。

**司会** 筑波大の学友より、よく言われる「筑  
波型再編」の実態をお願いします。  
**筑波大** 他大学の常識が全然常識でないこと  
をおさえたいと思います。自治会はもち  
ろん、教授会も生協、教職員組合もないわけ  
です。学長と学長の任命する五人の副学長に  
よる専制支配です。うち一人は、勝共の世界  
平和教授アカデミーの一員で多くの人事権を  
掌握しています。教育機構が複雑で教官と学  
生は徹底して分断されています。また十五単位



とらないと除籍になるし、存学年限も六年で毎年二、三名の除籍がでます。サークル会館も九時で消灯だし、先に述べたように政治的なものはすべて活動を認められないですね。ところが創価学会や原理の企画はよく認められています。学生は三S政策(スポーツ・スクリーン・セックス)で骨抜きにされて「紛争のない大学」をアメとムチにより押しつけられているんです。そんな中で私たちがみたくのが非合法でピラ入れをやっています。闘う条件はたくさんあると思います。反発する学生を拡大再生産している状況ですからね。



管理規制が完全になされることだと思います。この管理は教職員も含みます。広大な敷地のなかには学生の集まる場所がなく、昼休みに食堂だけ混むんです。学生会館がないので教室使用してもすぐ制限が厳しいです。この間の闘争で学生部廃止を求めて闘ったのですが、移転後は民青のボス交もあり廃止の確約をとりながら、今では学生管理の先兵となっています。サークル棟だけ自主管理です。

**立命館** 立大でも学舎移転が七六年頃から進められ、とりわけ二部の問題が通学面などでも深刻です。学費の安い二部は経営者にとって切り捨てたい存在なのでしょう。

**中央大** 文部省の方針としてサークルに個室さえ与えるなどというのもあるようです。また出欠チニックが厳しくなっていますが、あちこちで聞きますね。

**長大** 先に述べたように出欠チニック拒否をしていますが、拒否することで学生は自主的に出席しようという自覚が生まれるし、教える側も工夫せねば学生が聞いてくれないので授業自体変わってきたのです。

**弘前大** それはいいですね。代々木は授業がおもしろくないのは学生の主体による問題のすり変を行なっていますが、ましがいいですね。

京大 学部長団交で四・二〇通達の実質化をしない確約をとったのですが、ステッカーなど徹底的にはがすし、新入生情宣も暴力職員に排除されるなど管理強化が進んでいるなどというのが実感です。

糾弾集会を続けたのですが、夏休み中に花壇にされてしまい、使用できなくなりました。

**司会** 横国大の「移転統合」の実態を。

**横国大** 「移転統合」というのは単に校舎が移転するだけでは絶対になく、ひとつに文部省の言う大学再編の要としてあること。次に

京大 授業・カリキュラム問題に関して、自分のやっている研究が何に利用されるのか、研究内容や階級性を問題にしなければならぬのでは。

**司会** 報告や学園の状況について集中しましたが、大衆の生活感情や関心について今後と

も注意し、運動を前進させていきましょう。各大学の奮闘を祈っています。

**長大** 例えば水俣病なんかでも典型で、大学が根拠のない反動学説をふりまき、弾圧の先兵となっています。患者を「敵」と表現した教育もいました。

**京大** 農業についてもそうですね。

**京大** 衆の意識や関心事についてはどうでしょうか。長大のアンケートで面白い結果が出ていて、八割近い学生が社会に不満を持ち六四％が政治社会問題に関心を示しました。大ざっぱに言えば八割近い人が、働きかけしだいで反応するということです。

**広谷** 僕は授業内容の改善は重視すべきという意見です。独占がよく働く、しかもこういうとをよく聞く人作りをしているこの状況では自主ゼミなんて一種の「逃げ」だとも思います。

**司会** 大衆の意識や関心事についてはどうでしょうか。長大のアンケートで面白い結果が出ていて、八割近い学生が社会に不満を持ち六四％が政治社会問題に関心を示しました。大ざっぱに言えば八割近い人が、働きかけしだいで反応するということです。

**京大** そう思います。かつての活動家のピラは難しく、読んでほしいという感じではないです。改善の余地が沢山あると思います。

## 全国学寮の 団結をめざそう！

### 第二分散会 (寮運動)

**司会** 自己紹介と各自の活動報告も終わったところで、各大学・寮の状況をまとめていきたいと思います。

横浜国立大 蒼翠寮というのがぼくらの寮で老朽寮であり、大学からかなり離れた所(鎌倉)にあります。大学が最近移転されたばかりです。自治会運動の分散会などでも話題になつていと思います。昨年大学寮の自主

声を設定するなど努力しています。

老朽寮であり、大学からかなり離れた所(鎌倉)にあります。大学が最近移転されたばかりです。自治会運動の分散会などでも話題になつていと思います。昨年大学寮の自主

的運営を勝ちとる中で自治会を再建して、あらたに学生会館を要求する運動があります。寮としては、学内の学生管理強化に反対して闘う学友と共に、新寮要求を大学当局につきつけ大学教官に対する団交を重ねています。みなさんも知っているように、文部省は老朽化寮の建て替え(新寮)に際して条件を出しています。食堂を寮にはつくりたくない、個室



を原則とする、寮生の自治は認めない」といったようなものです。横国大においても例外ではなく、寮生がその条件を認めなければ、新寮問題は放置しておくという態度を変えようとしません。学長、学生部長が変わってからはより露骨に管理を強化しています。

しかし、移転後閑散とした学生生活に対する不満や、「大学祭をやらせない」といった

大学の学生管理への不満、不信の中で、自治会再建・学生管理反対をスローガンに学内の人々とクラス討論を組織したりしています。関西学院大 成全寮は大学構内にあるわりと小さな寮です。他にも寮はありますが、体育会の人が多く、ともに運動をやれるわけではありません。

大学再編と言えるのでしょうか、より大学の機能を合理化してしまおうというのか、大学の敷地を区分けしてしまおうことが発表されています。研究ゾーン、福祉厚生施設ゾーンとかいった具合にです。五つぐらいに区分けされるということですが、成全寮の、学生自治、学生運動に有利な今の位置、環境を破壊して他に移してしまおう計画があります。合理化を理由に学生運動をつぶしてきた例はたくさんあります。大学側の意図を暴露していく必要があると思います。

京大 吉田寮と熊野寮から参加しています。寮生管理規則である管規、また、負担区分に対する粉砕闘争が続いています。吉田寮は木造、熊野寮は鉄筋造りで、どちらもかなり大きな寮です。

○全国の学生管理強化の象徴である、四・二〇文部省事務次官通達が出されて以降、京大

の学生管理強化は反動学生部長の就任という形であらわれています。昨年就任した沢田学生部長は、「今までの寮生との確約はすべて守る必要はない」と公言しました。そして昨年熊野寮では寮の職員(事務員)が退職させられ、後任は入れないということを言っていました。理由は「定員削減。これは国是」とかいうものです。これに対し、寮生は学生部長団交を大衆的に勝ちとりました。それまでは「団交にも応じない」という態度であり、大きな前進だと思えます。

沢田学生部長は、寮生の追及にもかかわらずその反動的姿勢を変えようとせず、その後も、吉田寮に対しても厨房ガス代を支払えとか高圧的に出ています。これに対しては、不払い運動で闘争を続けています。これらは、学生が勝ちとってきた様々な権利を剝奪するものであり、多くの学友と共に反撃をしていく必要があると思います。

下関水産大 下関水産大は文部省の管轄ではありません、農林水産省です。とにかくひどい寮でして、上級生による下級生への暴力的支配がまかり通っているんです。強制的に運動クラブにはいらされるとか、真夜中、部屋回りと称して騒ぎ出すとか、上級生に嫌われ

るとコンパの席なんかでひどいことをされるとか……。とにかく戦後民主主義の光もとどかない所です。彼らは一応寮委員会をやっているんですけど、寮費を二倍化するなどということが大学から出ているのに、何をやるわけでもありません。毎年、新入寮生は一年もたらずに退寮していく所なんです。一年生同志で話しあって「何とかしていかなくては」と相談しているところですが、正直言って、

面と向かってはつきり物を言うことができないような状態です。ここでお集りのみなさんの寮運動とは違うところが多いと思いますが、こんな寮もまだまだ少なくないんじゃないでしょうか。

弘前大学 弘前大学の寮は、民青の人々が好き勝手なことをしています。とにかく民青のいうことをきかないと、寮に居ずらくさせられるんです。上級生は「緑の旗」(全寮連機関紙)ということで日共の主張がそのままのつてます)の販売競争をしたり、会議が定員に足りずに成立しないと、寮からだれかれかまわす足りない分だけ呼んできて採決してしまふといったことを平気でするんです。だいたい、寮のことを考える人でなくて、民青の運動のことしか頭にないんです。安くて、新しい

ので新入生は多く寮に入ってきますが、民青に反対する人には、いろんないやがらせが待っています。

司会 各大学・寮の事情を把握したところで、管理強化等について話したいと思います。攻撃する方は、反動官僚が大学・寮の運営の中で力を持つようにし、文部省のいいなりになるように操作せんとしています。

京大 横国大でも同じようですが、京大でも人事異動により反動性が強まりました。

横国大 大学が文部省に対して独自の態度をとることが薄らぎ、もう「大学の自治」なんておくびにも出さない状況であります。

司会 下関水産大の例は、中教審の「寮は厚生施設の意義だけでなく、教育的意義を持つ」ということで、現状に不満を言わずより柔順な学生をつくることに変わりはないですね。下水大 学生管理といっても様々な形があるということですね。

関学大 うちの大学では、批判や闘争がある程度のもなら認めるが「許された範囲」を越えると弾圧されます。寮でも同じですね。

弘前大 民青が「寮生は金を使いきる。税金、大学の金をむだ使いはいけない」というキャンペーンを貼っています。

司会 意識的に学生を分断しようということですね。寮生と寮以外の学生との団結をどう勝ちとっているかについてはどうですか。

関学大 寮が構内なので様々な学内諸活動の便宜をはかっています。また、寮の風呂を開放して寮問題を全学に知らせようとした。

横国大 学生管理強化反対のスローガンの一貫として寮の問題を取りあげ、寮生が中心的にそれを訴えることによって、寮生と寮生以外の学生とは分断されることなくいます。

司会 民青のように学生を分断せんとする勢力がいなければ特に問題はないということですね。

弘前大 逆に言えば、彼等のような勢力とは積極的に闘っていかねければなりません。

京大 京大ではかつて民青が、新入生に対して反寮廃寮キャンペーンをやりました。また、寮自治の論争の中で寮友を警察権力に売り渡すような暴挙も行いました。

弘前大 全く許しがたいですね。司会 寮運動が、身のまわりの経済闘争に変わってしまったらいいことではないですか。

横国大 移転後、新たな学生運動を再築しようとしている段階で、なかなか難しい問題ですね。今年一月、東大での管理強化反対の全

「両学生共同闘争に参加して、いい経験だった」と思っています。

**関学大** 狭山闘争等、そのような経験はありますが、何のために寮運動をやっているんだという話につながり、なかなか答えが出しきれません。

**京大** 寮の日常的諸要求だけを獲得目標とするのでは利己主義に陥っていくし、そうならないためにも広く世の中に目を向けていくべきです。矛盾を見つめていく中でそれへの関心、闘争をも組織していくことが寮の課題として、寮運動の内実として重要です。

**司会** 討論の中から、各大学・寮のおかれている状況の違いだけでなく、各大学の機構、寮、自治会と大学との交渉のルートはそれぞれどうなっているのかということなどもいっらかわかってまいりました。

**弘前大** もっと多くの大学、もっと多くの寮が結集できれば、大学のだれを、どこを追及すればよいか、学生の権利を勝ちとることができるか、寮生の生活を守ることができるか、はつきりしてくるだろうと思います。

**司会** もっともっと多くの寮を集められたら、団結の力もいっそう大きくなり、大きな闘争ができるだろうと思います。全寮連運動など一

へのもっとつっこんだ批判も話していけると思っています。今回は、司会をやらせていただき

いて大変勉強になりました。みなさん、ごろうさまでした。がんばりましょう。

## 反原理の世論を 力に転じて闘おう！

### 第三分散会（反原理運動）

**司会** まず、各学園での勝共＝原理の動きなどを教えて下さい。

**札幌商科大** 学内に原理はいませんが、街でアンケート活動をしているのを見かけます。

**筑波大** 世界平和教授アカデミーの教官がいます。いちおう、宗教活動も許可制ということになっていきます。

**精華大** 私は在日韓国人三世で、原理問題は私達にとつて死活問題です。また、日共＝民青の例の「勝共連合は韓国へ帰れ」のスローガンは絶対に許せません。

**横浜国立大** 六月の自治委員改選で原理が一名でたが、めだつた活動していないみたいで

**青山学院大** 原理研は、全国のどこにも自治会を持ってはいないようですが、青学では自治会自体がない中で、サークル支配を通じて学園全体を支配しています。サークル連合の委員長以下、常任委員を独占され、残念ながら彼等の拠点となっています。これには七十年前後、学生管理に利用するため勝共＝原理を導入してきた大学当局、大木院長の相当なバックアップがあります。

**青学大(2)** 彼らは、特に学園へ勢力を伸ばそうとしていますね。

**青学大** 教授を世界平和教授アカデミーへ入れたり学生を入信させたりして、大学の思想基盤を変えて社会を変えようとしています。大学を通じて国の中枢を握ろうというわけです。原理研は、学園では大学公認を装って新入生のクラスで名簿作りをしたり「大学と理想」をダマシ売ったりしています。街では、選挙中に反共演説、朝鮮大学認可取り消し運動、中国批判、スパイ防止法キャンペーンなどがある。反原理闘争に東京の学生の関心は高い。他大学ではどうですか。

**筑波大** 公開演説で勝共が来たりしました。が、ぶつかるまではいきませんでした。

**司会** 原理に対する視点等も話しましょう。

**精華大** 在日韓国人として発言しますが、日韓・日朝連帯の視点も忘れないでほしい。日本での運動は韓国の民衆にとつても大変必要なことです。

**青学大** 青学では学内問題としての視点が大きいのですが、一方で日朝・日韓連帯の視点、この二つをどう統一するか悩んでいます。

**横国大** 最近では新聞等で社会問題としてあつかわれるのを見なくなりましたが……

**青学大(3)** 原理研を単に反社会的存在、狂気集団として扱うマスコミは問題ですね。

**青学大(2)** でも、去年のマスコミのキャンペーンが効いて、勝共が伸び悩んでいる事実はありますね。

**司会** 友人で原理研に入ったなどないですか。

**筑波大** 宿舎にいた一、二年で、柔らかい感じでくる原理に引っかけたり、3 Days研修くらいまでいった人がいます。

**精華大** 私もアンケートに名前を書いたことで、下宿に二回も訪ねて来られたりして……

**東京大学** 途中参加なので、まず東大の様子を話します。昨年九月の不審火事件以来、原理は暴力学生キャンペーンをやり、自治会選に出たり、学生大会に登場してきています。

**司会** 原理が、民青に次ぐ大きな学生組織と

して伸びたのはなぜでしょうか。

**札幌大** 学生の左翼学生運動に対する不安や不信からではないでしょうか。

**筑波大** 彼らは、テクノロジーにより支えられた近代というものから脱却しようとしているそんなところからじゃないかと思っています。

**精華大** もっと単純な理由から入る人が多いと思います。原理はまじめなよい人が多いとよく聞くと、下宿していると寂しいでしょ、そんな時に原理が訪ねて来たり電話かけてきたりすると暖かさを感じてしまったりして。

**司会** 原理はまじめだということですが、じゃあどうして悪いのかという点はどうですか。

**精華大** 自分にとって、彼等は在日韓国人を圧迫する恐ろしい存在なのです。

**青学大(3)** 彼らは単なる宗教集団では決してない。社会的にも問題ですが、学園では管理の手先となって動き、また反動勢力と結託して動いています。

**青学大(2)** 彼等は労働者にも入り込んでますか。

**司会** 彼等は主に知識人層を相手にします。勝共は明確な政治集団でありながら、それを巧みにかくしている、宗教をよそおって、こういったところが政府支配層に必要視され



ているのではないか。支配層にとって、既成の反共右翼はありがた迷惑だが、勝共は巧みに学生、知識人に入って行くので、また彼らの手先となって動くので、支配層が求めて勝共が台頭してきたのではないか。やはり問題とすべきは勝共の背後で利用している部分で、その政治的意図の恐しさではないかと思えます。また、日共Ⅱ民青については、彼等の差別排外主義キャンペーン等の問題だけでなく、彼等が学園での実力闘争を否定している面も見て、追及すべきでしょう。どんな運動が本当に勝共Ⅱ原理を一掃できるのか、話し合っていきたいと思えます。

二日目

司会 昨日に続き、まず原理の位置づけを聞きましょう。

京都大学 視点は二点あります。一点は、勝共は戦争とファシズムを推進する勢力だということ。もう一点は、日朝両国民の敵、朝鮮統一の敵という認識をしています。

青学大 青学では、原理がサークル弾圧をしてるとかの視点があるが、政府支配層とのつながりなどの政治的視点をどう学内の運動に位置づけていくか難しい。僕は、勝共自体は力を持たず、利害関係にある岸とかタカ派の

連中が力を与えてると思うが、どうでしょう。

京大 朴政権が民主化闘争弾圧、統一反対や日本の笹川・児玉・岸・椎名らの日韓ロビイストと福田・中曽根派などが韓国での利権を守るための朴政権テコ入れや国内の人民の闘いの弾圧に勝共を利用したので、彼らは大きくなったのでしよう。両方の利害は一致し、政治的方向も一語です。

札商大 勝共が韓国で自治の闘いや統一に反対しているのは何のためですか。

京大 朴政権とその取巻きや、日本のブルジョアジーたちは利益を保ち続けるために今の体制を維持したいわけで、「勝共世界」とか言うより、経済的利益を基礎においた政治目的のためだと思えます。

司会 日共Ⅱ民青に関してはどう思いますか。  
京大 民族排外主義だから悪いと言えるわけですが、それと現実の日韓関係をねじまげてとらえている。韓国が悪くて、そのKCI Aが組織して悪いもの、勝共を日本に持って



青山学院大 原理研一掃総決起集会

司会 次に、どんな反原理の運動が望ましいか、話し合ってみましょう。

筑波大 筑波大の副学長らが原理と結びつけていることは学生に浸透してるが、それをどう元に進めるか考えたい。

青学大(3) 昨年来、原理の実態暴露をしてきたが、そういう情宣だけで終りやすい。もう一方で、政治的背景なども学べるようにしたい。

札商大 日韓連帯とかややこしい話もして、多くの学生を引き入れなくてはならない。司会 どうすれば大衆の基盤で勝共の本質を

つきつめられるでしょうか。

立命館大 勝共が学生・大衆に及ぼす役割を訴えてゆくべきで、無理して政治的課題を盛り込む必要はないでしょう。例えば具体的学内管理強化に反対する中で、学生が運動を通して政治的課題を形成してゆくとする。

京大 京大ではかつてのように、力で原理を排除するより、反原理の世論をうまく力に転化させたい。つまり、なぜ原理が悪いかが宣伝して原理の生息余地をなくし、一方で学生を弾圧してる勢力が勝共と関連してると暴露して、管理強化反対の運動と原理一掃を結びつけてやりたい。

青学大(4) 青学で反原理の高まりが続かなかつた理由の一つは、彼らがサークルを牛耳ってるからサークルの構成員に働きかけにくかったということだ。

立命大 反原理の継続的な運動の組織は作り出したか。  
青学大(4) ほとんどできませんでした。立命大 僕たちは日共も巻き込んでやってる。一方、「韓国へ帰れ」などは批判してゆく。京大 共闘してもいいが、日共がやる気を見せないのでもない。その辺で学生の権利を守るのには日共なのかどうか、実際行動で示す。

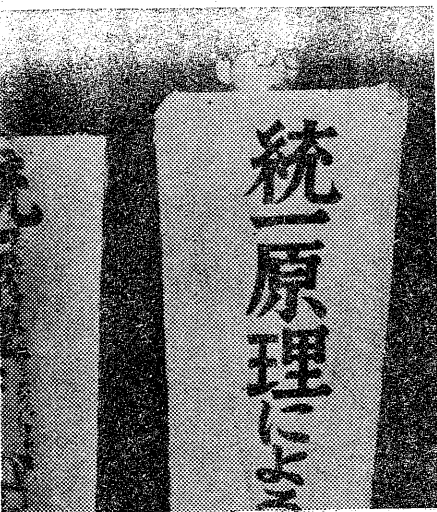
来たのではなく、日本が対韓侵略するために朴政権にテコ入れして勝共を保護育成してるというのが本当です。  
精華大 ただの差別助長のスローガンではないのですね。

司会 学園の反原理の意識はどうですか。  
法政大 反原理運動をするにも、学内は中核がにぎっているのほとんど入れません。  
京大 反原理の世論はかなりあるが、持続的運動をするには危機感がないのか、明確な問題意識が持てていません。

筑波大 学生は非常に嫌悪感を持っているが、政治的な問題、管理体制とかに結びつかない。また筑波は教職につく人が多く、原理が教育界に進出してゆくのが恐い。  
京大 単に原理に反対の運動でなく、これをやりたいとかいう時にそれには原理がじゃまなんだという姿勢が必要でしょう。

青学大(3) そうね。確かに、単に原理反対では内ゲバと同レベルで見られてしまう。仲が悪いから単なるケンカだ。

札商大 管理強化反対と言う中で、原理も当然じゃまだという立場をとればいいですね。  
青学大(4) 広範な学生が興味持つてることに、勝共がこういうふうな政治的に関わってくるか実例をあげたり、すべての面に結びつく運動が必要じゃないかと思えます。  
司会 最後に、この討論の感想などもお願いします。  
精華大 自分の問題として、在日韓国人・朝



街頭で叫びつづける勝共Ⅱ原理

鮮人にどんな害が及ぼされるか、特に心配なのは日本の救援活動が勝共によってこわされることです。注目してゆきたい。

青学大(2) 大変、勉強になりました。司会 創造的な運動の必要性があるというこ

とが、この分散会でわかりました。また、すぐに統一戦線を作ろうとかは言えないが、こういう話し合いが重要だと認識できたと思います。皆さん、御苦労さまでした。

業を破壊して行く今の行政に問題があるわけです。最近でもジェット燃料輸送パイプライン、騒音、農地荒廃などの問題や、農業振興策、成田用水での利益を受ける地域と受けない地域をつくり、反対同盟の分断を策しています。

精華大 もう少し詳しくお願いします。

千葉大 例えば六月上旬にパイプライン埋設予定の農民に全く一方的な形で工事を強行していくという事態が起っています。安全性の確認なんか一切やられてないし、団地の自治会や住民の反対をおしきって工事を強行してきています。騒音では、人間に与えるものだけでなく、スイカがとばされたり、ニワトリが卵を生まなくなったりしています。

まあ、僕が話をするより、現地で農業をして生活してみるのが一番よくわかるでしょう。

同志社大 僕は七尾へ反原発闘争の話聞きに行った。見張り小屋の漁民が今一時的に金をもらって楽するよりも、子供の代まで考えるところの海を守ってゆく方が幸せなんだと話してくれました。

学内では原発に対する議論を行ないました。原発を建てさせない、危険な原発を作ろうとする今の行政を見る目を養う、過度な物質文

# 住民運動と学内活動 を結びつけて前進しよう

## 第四分散会 (反公害住民運動)

司会 各々の活動の報告をしてもらい、質問はその都度、出してもらおうと思います。

福山大 今年から自分たちで農業をやっています。五十名くらいでみかんなどを作っています。

関西学院大 有機農業などへの視点はどうですか。

福山大 まだ確立してないんです。千葉大 僕は三月頃から三里塚現地に入って活動しています。三里塚十四年の闘いは、農

明を考え直すという視点がそこで出ました。下関水産大 豊北原発反対運動をしてきました。去年二月に、全漁民約千三百名が町役場へ団交に行き、原発を誘置しないという確約をとりました。そして町長が辞任し、四月以後の町長、町議、県議の選挙でも反対派が勝利して、現在手出しさせない状態です。漁民の団結が固かったおかげです。

京大 大阪の熊取に京大の原子力研究所がありますが、放射性物質のたれ流しが発覚しても、それでも原子力研究所は必要なんだと言って今でも続いています。

司会 京大農政研はどうですか。京大 新入生向けに、なぜ米が余っているのかなど訴えかけ、道ばたで学習しています。

長崎大 去年は「むつ」今年には南総問題です。これは、諫早湾をしきって淡水湖を作り、農業・都市用水に利用しようという計画です。この計画は欠陥だらけなのに強行されようとしてるんだけど、学友会の総務委員会では反対の立場を明らかにしています。学生大会を成立させて、現地闘争までしても反対すると決議したいところです。

長大(2) 僕も同じく水産学部生ですが、南総問題では漁業調査に行き、漁民と連帯す

るつもりです。それから水産学も漁民のための学問としてやりたい。

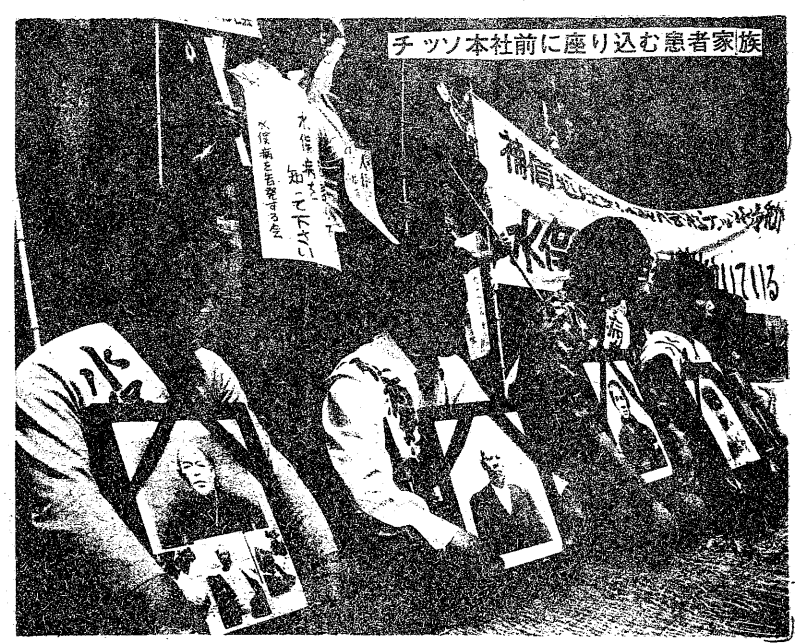
関西学院大 反原発をやっています。が、住民よりも原発内の釜ヶ崎とか未組織の労働者と結びついていきます。労災認定闘争の支援とか。それと、関西新空港問題があり、反対住民の中へ入ってゆきたいと思っています。

関学大(二) 僕は生協活動をしていて、現在、合成洗剤追放運動を行なっています。

### 二日目

司会 水俣の報告をします。現在問題となっているのは、まず認定制度です。慢性症状は水俣病と認められにくく、申請から処分まで十年かかると言われ、その間に死ぬ人も出てくるわけです。これは熊本県の怠慢である、五十二年十二月に熊本地裁で判決が下された。その次が新次官通知です。このため県

の上環境庁の審査会が動き、ますます申請棄却者が増えています。もう一つ水俣湾をし



きてへドロを埋め立てようという計画がある。今は仮処分で停止中ですが、第二次汚染のおそれがあり、患者さん中心に反対中です。僕らの活動は、学外が主で学内では年二、三度上映会をやるくらいです。もっと積極的

下水大 水俣に行きたいけど何ができますか。  
司会 昼は援農、夜は患者さんに会って話し合うことができ、排水口なども見られます。

さて、我々が学生として、どのように住民と連帯するか、住民が我々に求めるものは何なのかという点について話し合います。

下水大 大分の豊前火力発電反対では、現地住込みで頑張りつつ学内に還元してきた。自分らが学内で頑張るって初めて住民と連帯できるのではないのでしょうか。

同志社 僕たちが考えるのは、闘争の力になってあげたいということだけど、住民はもっと冷めてて、学生は勉強が本分で卒業後に闘争で学んだことを役立てて欲しいということじゃないかなあ。

関学大 例えば原子力発電が学内の研究体制の中に組み込まれて使われている。これについて学内と学外で同じ熊取を廃止へという運動を作れる。

京大 学内の研究体制の腐敗についておらず、学外へばかり出ていたら灯台もと暗しではない。工学部などでは、学生実験で重金属などを平気で流すこともある。反公害は身近なことを考えるのが重要です。

弘前大 学内外の両方から運動を組んで社会

的な運動にしていけることが必要です。例えば青森は三里塚と遠いから、農業の現状と三里塚の問題を結びつけてやらねばなりません。

長大 「むつ」の時、反対漁民に学生大会へ来てもらいました。僕らが話すのと違い、実際の漁民の話は大会の雰囲気ガラリと変えました。それから、理念的にはなく、海を見るなりして体で感じると、反対運動にも熱が入ります。

千葉大 同感です。農民は全国の支援と会うことで視野が広まり、全国の状況をよく知っている。そして学生の行くことがはげみになるわけとその点が住民運動に対して学生の果たす役割の出発点だという気がするんです。

学内外の関連には思想の問題があると思うが、三里塚の野菜を売って、次に学生の目を政治に向けるという風に段階的に行うべきです。そのための最良の教師が住民・農民・漁民です。彼らに導かれれば、必ずよい運動になるはずですよ。

司会 まとめると、現地で住民と接し結合すること、その成果を学内に還元し自らの運動を作りあげることが必要かつ重要なわけです。精華 私は学内でピラや集会を目にして、関心を持つようになりました。そういう影響力

は確かに学内に広まってると思います。京大 学内でやるのは、多くの学生に「目覚め」てもらったためのかなあ。

弘前大 すべては社会を変えるためにやるんです。その時に学生だから学内でやるんです。一般的に意識を変えようってわけじゃない。

京大 どうやったら社会は変わるの。弘前大 学生にとっては学生運動をおこすことじゃないですか。

京大 全共闘とか学生の高揚を期待するのは。弘前大 そのために、こういう交流集会をやってるわけですよ。

司会 学内での具体的な運動というより、なぜやるのかという話になったけど、なかなか学生が集まってくれない今の状況で、どうやって運動を広げるかが切実な問題でしょう。

関学大 そうですね。みんな何らかの積極性を持つてるだろうから、それを運動側がうまくつかむ必要がありますね。  
京大 足を向けてもらう方の主体性がまず問われるんですよ。  
関学大 やってる方の主体は知られてるわけで、認めてもらうまで学内でやるのが大事なんじゃないでしょうか。  
京大 それだけヒューマンな信頼関係ができ

ればいいけど。皆、個人主義なんだよ。

司会 学生の意識はアンケートなどによれば社会問題、とりわけ公害問題なんか非常に興味は強いんです。

弘前大 皆、各自の考え方はきちんと持っているけど実際に集会へ連れてゆくのには難しい。その人が今一番強く持っている意識から出発するの心掛けて直接その問題の集会なりをうつことから運動してゆくべきでしょう。

司会 今回は経験の交流と団結をめざすという二点が目的だけど、皆さん、団結の必要性についてどうですか。

弘前大 地域の住民運動は自分たちのエゴでやっているとよく言われるけど、違います。三里塚農民の話だけど、敗戦後に自分が日本のためにできることを考え、三里塚の開拓に入った。空港が国民に利するものならいつでも反対のハチマキをおろすと言われた。彼らは全国の農業問題をよく勉強してて頭の下がる思いです。学内では得られない、世の中の中のしくみとかを知るには現地へ行くのが一番必要です。

福山大 回りから見ると判断すること、中に入って話を聞くことは全然違いますからね。  
下水大 行政は、大学と住民を切り離そうと

している。企業に都合のよい学生でなく、現実を知ろうという学生を増やしたい。

長大 学内で訴える時、漁民の立場に立つのか、資本の側に立つのかというのを言うんです。大学が資本の側の人間を生み出している。学問というのはそれでよいのかってことを話していくんです。

司会 例えば、水俣の認定制度を問題にする。ことは、それを作り出した行政自体を問題にすることなんです。これはもうその地域だけでは解決できない。全国の政治を問題にする必要があるんです。

まとめると、一つは地道に住民の中へ入って学ぶこと、それは学内でわからないことを知るきっかけとなる。二つめは、自分自身の生き方、どの立場に立つのかということが問われるということ、それを認識し深めることが反公害・住民運動を住民と結合してやる時大きな役割を果たします。自らの主体性の変革と、周囲の人々と力を合わせて社会を変えていくということです。そろそろ、今回の感想などを述べて下さい。

立命館大 具体的に何をもちって団結していくのか、その団結が何を生むのかというふうなことを考えました。

尾道短大 こういう具体的な分散会でいろいろな話が聞け、大変よかったと思います。

関学大 分散会の設定は、もっと範囲が広がればさらによかったと思います。

長大 運動の主体は学内にもある。僕らは、漁民に勝手に海を売られたら困るんで、この辺を話しに行っかってかえって団結が深まったこともあるんです。

長大(2) 住民運動をやっている学生の団結が得られるならば、それが自然に地域の農民・労働者との連帯につながっていくと思います。こういう討論をふまえていきたい。

関学大 まだ討論には遠かったけれど、こういう交流は続けたい。日本全体の政治の動向を知るためにも全国規模の交流を作る必要がありますね。

千葉大 こういう交流は、団結を進めるの一番のやり方でしょう。すばらしいことです。

司会 全国からいろんな大学が集まったことは、非常に意義深いものです。今後、こういう集会を持ち、お互いの経験交流、あるいは団結をめざして、また何をもちって団結するかということもその中で模索していきたいと思えます。

参加者名簿の交換をしたいという提案があ

ります。  
〈全体の拍手〉

司会 では、そのようにしましょう。これで  
終わります。

くはならないと思います。東京で許氏の講  
演をきいたことがあるのですが、様々な階層  
の人達の団結が深まり、統一で一致し、民主  
化を進めるために意見の違った人々とも共に  
やっているという状況があるということ。ま  
た、学生運動すなわち革命運動とはなり得ず、  
前衛党の指導の必要性ということが非常に印  
象的でした。

# 韓国の民主化闘争 朝鮮統一運動への連帯を

## 第五分散会 (国際連帯運動)

司会 国際連帯運動の分散会ということで、  
統一革命党在日韓国人連帯委員会の許氏から  
の貴重な話の後を受けて進めたい。朝鮮の自  
主的平和統一に向けての全民族大会の開催、  
それをめぐる各国の動きなど統一をめぐる重  
大な課題について論議しましょう。

エ思想をもとにどのように進めるのか。カー  
ター訪韓など一連の動きの中で、ベトナム・  
カンボジアの事態、米・ソ世界戦略など密接  
にからまった状態での流動的情勢をどうとら  
えるのかということを討論したい。

司会 許氏の話の話を簡単に振り返ってみると、  
韓国の学生運動は民族民主運動としてとらえ  
るべきで、四・一九革命の評価として全く正  
当な恨みや怒りの爆発と同時に自由と解放を  
求めた正義の闘いであり、教訓として、学生  
と大衆が団結すれば、反動政府は必ず倒れ  
るが政治機構は変わらなかった。そのため闘  
う側に分裂が起ってきた。転換期における理  
論不足、前衛政党不在により革命勢力が弱く  
「学生の限界が明らかとなった。韓国学生の果

たした役割は、媒介かつ突破口として、社会  
革命におけるプロレタリアートや農民への橋  
渡しであり、学生運動自体としては、そのま  
ま革命運動にはなりえない。昨年、民主主義  
国民会議から民主主義国民連合、さらに、民  
主主義と民族統一という初めての組織ができ  
た。新民党の党主が金泳三氏となったけれど  
も、共和国からの会議の提案にはのるわけに  
はいかないという状況で、民族統一をかかけ  
た組織ができた。これが野党の結集軸となっ  
ている。要約すると以上のような内容でした。

響を与えるのかを考えていく必要があると思  
う。

青学大 自主的平和統一というのは、たしか  
に共和国の提案だけれど、民族の問題として  
自主的に朝鮮全人民の社会の在り方を考えて  
いくことだと思ふ。

京大 共同声明に至る前に、共和国から出さ  
れた自主・平和・民主の三原則があったので  
す。現在のには民族大団結がいちばんの基礎  
となるわけで、自主というのは、明らかに分  
断がカライ政権の擁護となっているという  
民族的な問題があり、これを押さえるのが平  
和的であり、民主であるということが言える  
と思います。

司会 具体的に日本で統一運動をどう闘って  
いくのか。また、共産党の勝共連合に対する  
キャンペーンの問題からも追及し議論してい  
きたいと思ふ。

法政大 戦前、朝鮮を植民地にして、悪いこ  
とをしたのだから申しわけないというような  
視点でやってもだめだと思ふ。

福山大 日本の韓国への経済侵略、利権あさ  
りの日韓ロビイストと勝共連合との結びつき、  
日本のファッショ化を現実にする大

「ついている部分があり、日共の言う朝鮮連帯と  
いうことが説得力を失っているという現実が、  
あります。

立命館大 金日成主席は、朝鮮統一において、  
日帝と米帝の二つを打とうとすべきか、それ  
ともどちらか一方をあげているのかわからな  
いのですが。

司会 米帝中心だと思ふます。駐韓米軍の問  
題が一番大きく、わが国の支配層に関しては  
ゆ着が強まっているけれども侵略という段階  
ではない。朝鮮戦争は休戦の状態、共和国  
は戦争終結、米軍撤退、南北統一を基本とし  
ている。国際闘争の問題では、朝鮮統一は民  
族解放であって、東京で会議が開催されたの  
は、平和統一を進めるために大きな力になっ  
た。

法政大 有事立法という時、朝鮮有事を想定  
しているのか、どのくらいの現実性があるの  
かというのの大事なことだと思ふけれど。

福山大 僕は今の段階では新民党は客観的に  
は積極的な役割をしていると思ふ。民主化を  
要求する点に関しては、日本にも在日朝鮮人  
のさまざまな組織があるけれども、共闘をす  
すめていくためには、技術的な問題で片付け  
ないで、かなめを押えて戦術的なところで柔



軟にいくべきだと思ふ。

司会 統一に關した時代の状況と全民族大会の北からの呼びかけとこれをめぐる動きについて討論していきましょう。

青学大 新聞などは、朴政権が積極的なのに共和国が無理難題をふっかけて対話が実現できないということを宣伝しているけれども統一を一番望んでいるのは民衆で、その方向に一番近いのが共和国であつて、邪魔して分断しながら表面では追いつめられて、事実上対話に応じざるを得ないという朴政権の本質が暴露された。

立命大 去年から今年にかけても日中平和友好条約が締結されたり、米中関係が正常化したりなど国際情勢の急速な変化があつて、反共一本で成立していた朴政権だからアメリカが手を引いたらどうしたらいいかわからなくなり、国際世論もすくく批判的ですから民主的なポーズを示す必要があるし、人民の闘いが高揚して、朴自体孤立感を深めていたと思う。朴から先に共和国に話し合いを提案したけれど、北から具体的に四項目の提案をしてこられると、これに対して応えようがないと、そして、四項目の提案を破るようなことをやつて敵対してくる。

司会 朝鮮の自主的平和統一をどのように日本

本のとりわけ学生が連帯していくのか、大衆的に広げていくのか議論したいと思ひます。国際的なレベルでの民族解放運動を支援すると、とりわけ日本に一番近くしかも政治的にも経済的にかなり関係が深い国でこの問題を支援するという意味でも大きいと思ひます。

青学大 日本が朝鮮を侵略することによつて、わが国の労働者人民が恩恵をこうむっている、そのことを乗り越えて連帯しなければならぬ、というような見方もありますが、事実はどうなつているのでしょうか。

司会 対外侵略によつてその自国の人民が得をするはずはないと思ひます。イランのように海外依存が深まつていくと、一部の売弁資本家などが肥えふとつて民族資本が崩壊していく、農業が荒廃し、都市がスラム化していくということがあります。日本がどのように朝鮮の統一に連帯していくか、勝共や日共のことなど含めて話してください。

青学大 勝共すなわち統一協会は独自の戦略や思想があつて、朴政権と全く一体ではないのです。統一協会は、今の朴や日本の支配層と利害がある程度一致しているけれど、いず

れは反共の統一原理で政界一致の世界政府を

作り上げようとしていて、自主的平和統一にいちばん敵対しています。日本人の敵対物であると同時に朝鮮民族の敵対物でもありません。国際連帯の立場に反し、日共は、韓国からの謀略部隊だと言つて、「勝共は韓国へ帰れ」などと差別排外キャンペーンをはつています。

司会 韓国でも民主化と朝鮮統一の運動を妨害し、日本でも在日朝鮮人への差別キャンペーンをはつて日本の連帯運動を妨害している。これが統一協会と勝共連合です。また、左のポーズをよそおひながらも、デタラメな情勢分析と差別排外キャンペーンで、実質的に国際連帯の運動を妨害し、分断している、これが日共と民青であります。これらの妨害を具体的に叩きながら、労働者、人民と結びついた大きな学生運動をつくりあげ発展させるためにも、国際連帯運動の大きな潮流をつくつていきましょう。とりわけ韓国の民主化、朝鮮の統一がわが国の進路にも大きく影響します。頑張つていきましょう。

## 南朝鮮人民、学生の反朴民主化闘争 南北の自主的平和統一の闘争を 支持し連帯する決議

私達は、六月二十三、二十四日の両日、学生運動の団結をめざし、京都に集まり、交流を深めました。そして、総会では、統一革命党在日韓国人連帯委員会の許学寿さんの記念講演をききました。

南朝鮮学生の戦後の闘いの歴史と教訓について具体的に話がされ、その命をかけても民族と人民の悲願のため脈脈と闘われている闘いに、私達は大変感動しました。

また、国際連帯の分科会においても、最近の朝鮮情勢の学習をはじめとして、各地でどのように朝鮮連帯の運動をくりひろげていくかを討論しました。

朴政権の維新独裁をうちやぶるために血の教訓をもとに労働者、各界の人々と結びついていよいよ南朝鮮学生運動は力強く闘います。昨年秋の予告決起に象徴されるソウル大をはじめ、高麗大、延世大、梨花女子大、慶北大などの英雄的な闘い、反朴民主化そして統一をめざした闘いに、朴政権をうち倒す大きな原動力があると思ひます。

アメリカやわが国支配層が朴にテコ入れし、南北朝鮮の分断を固定化せんとしても、それは歴史に逆行するものです。私達は、南朝鮮学生、そして人民の闘いを断固支持するとともに、わが国が南北の分断に手をかし、あの朴独裁を支え、侵略を強めることを糾弾し、そういう政府・支配層と闘いつつ強く連帯を求めていきたいと思ひます。

一九七九年六月二十四日

全国学生運動の団結をめざす交流集会参加者一同

# 集会アツピール

全国の学友の皆さん。自治会、寮、サークルなどで奮闘されている仲間の皆さん！

私達は、六月二十三、二十四日の両日、京都に集い、全国学生運動の団結をめざして交流し討論を深めました。

本集会は、わが国内、外の情勢が激化し、全通や造船の労働者をはじめとして、各界、各層の人民が、支配層の悪政に怒りを燃やし、活路を求め、闘わざるを得ないそんな中でひらかれました。

それは、これらの広範な人々の学生運動に対する期待の高まりを私達にひしひしと感じさせるものでした。とくに、国際連帯、祖国統一の悲願にもえる朝鮮人民の闘いに連帯するような闘いでも、一層切実に求められていることが確認されました。

本集会上に結集した多くの仲間達は、全国で、政府・文部省・当局によるさまざまなかの中教審路線、筑波化の攻撃の中で、一層圧迫され、不満を高まらせている学友達の中で真剣に闘いを堅持し、あるいは闘いはじめ、また闘おうと願っている学友達でした。

私達は、闘いの経験や、その蓄積、そして、それ故のいくらかの見解の相違は存在しますが一様に大衆の怒りに応えた全国的な闘争の爆発をねがっている点では全く一致しました。

私達は、二日間の討論を経て、全国の仲間と訴えたいと思います。

全国でひきつづき学友たちの力に頼り闘いを堅持しよう。互いに団結をめざして、率直な論議を深めよう。交流しよう。

また更に輪を広げ、必ず結集できることをねがって集会のアツピールとします。

一九七九年八月二十四日 京都

全国学生運動の団結をめざす交流集会

発行：6. 23～24集会報告集編集委員会

連絡先：新宿区新小川町3-16牛込五番館 中村方  
中野志乃夫 電話 03 (267) 9640

送料〒200円 頒価300円